

金融包摂型FinTechスタートアップGlobal Mobility Service株式会社

日本経済新聞社・金融庁主催 FIN/SUM2025にGMS代表の中島 徳至が登壇

-社会課題解決に向けたFinTechの役割を問う-

車両の安全な遠隔起動制御システムを活用したサービスを、世界に展開する日本発のスタートアップGlobal Mobility Service株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:中島 徳至 以下「GMS」)は、2025年3月4日から4日間にわたり開催された日本経済新聞社・金融庁が主催する「FIN/SUM2025」の主催者パネルディスカッションに登壇しました。

FIN/SUM2025<https://www.finsum.jp/>



「金融庁パネル: 前例、常識を超えたサービスを目指して～次世代フィンテックの可能性と課題～」と題して、これまでのFinTechの変化と普及について振り返り、課題に対し今後どう取り組んでいくべきかについて、東京大学元総長の小宮山宏氏、法務大臣政務官の神田潤一氏、さらに海外での実証実験を共に開始するセブン銀行代表取締役社長の松橋正明氏らとディスカッションを行いました。中島は、FinTechは当初、業務改善ツールと捉えられていたが、現在では社会課題を解決する重要な手段になっていることを述べた上で、産業の境界が消えつつある今、志をもったスタートアップと大企業が協力し、インパクトのある事例を生み出すことの重要性について主張しました。

また、パネルでは次世代FinTechの課題について、ユースケースの蓄積が法改正の後押しになることに触れ、中島は事例作りに向けて、リスクをとって一歩踏み出すことが真のマネタイズの鍵になることを伝えました。



今後もGMSでは「真面目に働く人が正しく評価される仕組みを創造する」をビジョンに、生まれた国や地域や家庭によって区別されず、データによって個人がエンパワーメントされる社会の実現に向けて、理念を共有する金融機関をはじめとしたパートナー企業の皆様と事業展開を加速してまいります。

Global Mobility Service株式会社 概要

GMSは車両の遠隔起動制御システムを活用したサービスを提供する、グローバルスタートアップ企業です。日本国

内及び ASEAN 諸国(フィリピン/カンボジア/インドネシア)において、まじめに働く低与信層の方々の就業機会を創出するファイナンスモデルや、巧妙化する車両盗難を最新の技術で防止するサービスなどを展開しております。弊社サービス利用車両の総走行距離は、2025年2月時点で11億kmを突破するなど、世界に大きなインパクトを与えております。また、2023年には経済産業省よりロールモデルとしてJ-startup Impactに選定され、2024年7月には「国土交通スタートアップ賞」を受賞するなど、高い評価をいただいております。

当社の事業概要につきましては、下記動画をご参照ください。

<https://youtu.be/S9fXklbwYEY>



会社名: Global Mobility Service株式会社

代表者: 代表取締役社長CEO 中島 徳至

所在地: 東京都千代田区神田紺屋町15 グランファースト4F

設立日: 2013年11月25日

資本金: 19億2,611万円(資本準備金含む/2024年3月31日時点)

URL: <https://www.global-mobility-service.com/>

事業内容:

車両遠隔起動制御IoTデバイス「MCCS®」、データ分析プラットフォーム「MSPF®(モビリティサービスプラットフォーム)」を活用した金融包摂型FinTechサービスの提供、盗難防止システムの構築、およびデータの二次活用サービスの提供

®登録商標 GMS、MCCS、MSPFはGMSの登録商標です。

<報道関係者様からのお問合せ>

Global Mobility Service 株式会社 広報グループ

E-mail: press@global-mobility-service.com